

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こぼんはうすさくら保土ヶ谷教室（放課後等デイサービス）

公表日 2025年10月20日

利用児童数

26名

回収数

24名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	24				広々としていて明るいスペースがある	安全が確保できるようにスペースは十分確保している
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	24				いろいろなスタッフの名前を覚えてくれるから多い気がする	安心安全を考えて配置している
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21			3	2階が教室の為、階段など見守りしてくれている	階段など不安な所は必ず見守り対応している
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	24				スペースも広々とあるし、換気 zu 注意されている様子がわかる	消毒・換気には特に配慮を行っている
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24				集団の中で（子ども達同士）こそ学べることに取り組んでくれていると感じる	ひとりひとりの子どもの特性に応じた集団の中での対応について伝えていけるようにしている
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24				子どもたちの当日の様子を見て対応してくれている	その日の子どもたちの様子を見て活動内容を変更するなどして対応している
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24				小さな気付きも大事にしてくれている	今後も小さな気付きを大事に、お子様や保護者様の課題やニーズを組み込んでいきたいと思ひます
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24				相談や面談の中での内容に入れている	相談・面談の内容をふまえてお子様の無理のない範囲の内容設定にしている
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	24				行われていると感じる	計画に沿って支援できるようにしている
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24				日々色々な活動を通して経験させてくれている	様々な活動を通して経験してもらえように支援している
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	24				一緒に活動はしていないようですが、キッズの中で交流している	一緒に交流は今のところ考えていないが、お声があれば検討していきます

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24				説明をしっかりともらった	分かりやすく丁寧に説明を心掛けている
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	24				しっかり説明された	分かりづらい言葉（専門用語）は避けて説明するようにしている
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	2		2	プログラムというよりも日々の中での対応の仕方であっていただけたらいい	いつでも対応できるように電話対応等もしています
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	24				連絡帳や送迎時など気になるところなど話している。	電話をはじめ、送迎時や連絡帳で共通理解できるようにしている
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	24				その都度、対応してくれている	保護者が必要と感じた時など、電話や面談希望などあればその都度対応している
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24				どのスタッフでもよくわかっていてくれていると感じる	保護者様と考えたり、悩んでいることなどお聞きしながら支援に繋がっていきたいと思います
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	4			保護者会などは仕事をしているためあっても参加できないが、送迎時など兄弟に会うことが多く、声かけしてくれたりしてくれている	保護者同士でのつながりができた方もいるようで、その話をしてくれたりしている
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24				相談や色々な変更についてなど説明してくれている	何かあれば会って伝えられるようにしている。電話でも構わないと伝えられている
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	24				連絡帳や電話ですぐに対応してくれている 送迎時などでも対応してくれる	すぐに対応できる旨、常に声掛けし伝えている
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	24				ブログで見れたりホームページを見たりできる	色々な活動についてブログにあげたりしている
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	24				契約時にしっかり説明がありました	契約時にしっかり説明をしている
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24				ブログでも訓練の様子など見れたり、説明もありました	訓練など分かりやすく伝えられるように心掛けている
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	24				避難訓練などについて話があった	定期的に訓練をしている
満足度	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	24				色々な内容があり、説明してくれました	内容説明が多いですがお伝えしています
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24				キッズの引き取りの際に言われたことなどもしっかり伝えてくれている。	活動中にいつもと違う様子等しっかり内容報告をきちんと伝えていきます
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	24				安心した様子で送迎車から降りてくる	安心して安全に利用して頂けるように心掛けています
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	24				次行ったらお友達と〜するんだ。と話しているので楽しいと思います	一緒に楽しく活動できるように心掛けています
	29	事業所の支援に満足していますか。	24				楽しみな様子などを話してくれたりするので、満足している	満足して利用頂けるように、スタッフ一同頑張っていきたいと思っています

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		こぼんはうすさくら保土ヶ谷教室（放課後等デイサービス）				公表日	2025 年 10 月 20日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17		活動に応じて物の配置など変更しスペース確保している	時々学校帰りの子どもたちの荷物が多くなった場合のスペースが課題	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	17		保護者から多いですね。と言われることが多い	目が行き届くように配置は多いと感じる	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	17		2階のため階段があり、スタッフが必ず見守りしている	子どもが安全に活動してもらえるように子供の目線で考えていく	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17		使用したものに關して消毒も適宜実施している	換気の必要性、重要性を理解し対応していく	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17		いつでも対応できるようにしている	使用するタイミングはあまりないが、いつでも利用できるようにしている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	17		周知理解できるようにミーティングなどで話している	日程など調整し参画できるようにしていく	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		アンケート実施しミーティングで伝える機会を設けている	集計し意向を聞き、改善点について話ししていく	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	17		日々ミーティングを行いスタッフ同士で意見交換している	意見交換をした後どのように迅速に業務につなげていけるかが課題	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		17	第三者評価は行っていない	本部の評価調査はある	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	17		勉強などで今スタッフが気になる事をピックアップし取り上げている	これからもスタッフが気になっていることなども議題にしていく	

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17		ホームページに載せている	ホームページに載せていることを今後も伝えていく
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	17		子ども・保護者のニーズを聞き、スタッフを交えて分析している	どのように分析していくのか日々勉強していく必要がある
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	17		スタッフでカンファをして検討している	スタッフと共に検討し、それを踏まえて作成している
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	17		スタッフで共有している事なので同じように共有できている	計画に沿った内容を共有できるようにしている
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17		連絡帳などを用いたり、申し送りで状況の確認をしている	日々の申し送りが一人一人詳しく行っていると時間がかかってしまう
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17		視点を把握したうえで本人に合った計画がなされている	本人に沿った計画で支援されるようにスタッフも念頭に置いている
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	17		スタッフ同士で案を出し決めている	検討する時間を確保していく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	17		いろいろな観点からみてスタッフと案を出し決めている	固定化しないように色々考えていきたい
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	17		こどもの状況をみて、活動できることを組み合わせている	日々どちらの活動にしようか検討し支援していく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17		必ず行い確認している	少しの間でも常に共有しようと連携を図るようにしている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17		必ず支援前と同様に振り返りを行っている	次の日へのフィードバックを必ずするようにしている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	17		業務日誌を含めて記録はとっている	日々の記録や特記など、今後の支援について検討している
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	17		定期的に行っている	今後も定期的に行っていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	17		状況に応じて活動を組み合わせて行っている	子どもの状況に合わせて様子見ながら活動している
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	17		余暇活動では子どもたちが主体的に動けるように見守りをしている	子どもたちが遊びの選択ができるように2つ以上のやれることを提案している

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	2	参画している	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	17		区役所等と連携している	今後も継続していけるようにしていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	17		その都度、保護者に声掛けし確認している	緊急連絡先など一定期間で連絡先の変更ないか確認が必要
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	17		連絡を頂いた中で共有している	保護者から情報を聞き、保育園等からも連絡を頂いたり共有に努めていく
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	17		移行される方がいない	いつでもフォローできるようにしていきたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	7		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	7	キッズを利用している子がほとんどで遊んでいたりでするので交流は図れていると思う	キッズなどは利用人数が多いので企画があれば検討できるがなかなか難しい様子
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	7		地区の町内会などは参加している
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17		送迎時に伝えたり、電話連絡で今の状況など話をしている	保護者にも些細な事でも教えて欲しいと話してるため、連絡帳で教えてくれたりしている
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	17		こぼんでの声掛けの仕方など支援の方法について聞かれることも多い	出来る限りこちらの対応をお話していく
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17		時間を設けてしっかり説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17		初回やアセスメントの際などしっかり聞き取りを行い、意向を含めて確認している	利用時にもお子様にも意思を聞いたりして、確認している
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	17		計画書にサインをもらっている	説明の上、計画にサインをもらっている
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17		電話であったり、適宜面談をしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	17		送迎時には兄弟にあってお話することもある	常に支援する方向で考えている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	17		そのように対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	17		HPやブログで発信することはお伝えしている	周知していく
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	17		鍵付き書庫で保管してる	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17		言葉で分かりにくい場合はボードやカードで視覚から入るようなものを使ったりしている	ボードを作成したり、子供に応じた対応を考えている
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17		行事に招待することはないが、外を歩いたりする際ご挨拶したりしている	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	17		日程を決め各種マニュアルを見ながらの研修や訓練をしている	周知できるようにしていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	17		日程を決めて、行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	17		事前に情報を聞き取り、保護者と状況の確認をしている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17		今のところいない	アレルギーのあるお子様の場合、対応がとれるようにしている
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	17		日程を決めて、研修や訓練を行っている。またそのことを念頭に支援している	スタッフにしっかり周知していきたい
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17		説明もその都度行っている	送迎時などで保護者に伝えられるようにしている
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	17		ミーティング時に振り返りを行っている。その中で挙げられたものは検討している	ファイルを作成し、どのような内容があるのかが見ても分かるようにしている
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17		研修を設け行っている 注意を払っている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	17		今まではないが説明はしている	